

東亜ディーケーケー(株)
 SDS 番号: C1445853-M00190-26
 製品名: クロロホルム ACS 1L

作成日 2007 年 12 月 13 日
 改訂日 2022 年 12 月 13 日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : クロロホルム ACS 1L
 カタログ No : 1445853
 品目コード : HACH0240
 供給者の会社名称, 住所及び電話番号
 東亜ディーケーケー株式会社
 東京都新宿区高田馬場 1-29-10
 担当部門 : 生産部 HACH 技術課
 04-2957-6152
 F A X 番 号 : 04-2957-9906

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性

急性毒性（経口） 区分 4
 急性毒性（吸入：蒸気） 区分 4
 皮膚腐食性／刺激性 区分 2
 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分 1
 生殖細胞変異原性 区分 2
 発がん性 区分 2
 生殖毒性 区分 2
 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 1（腎臓 心血管系 呼吸器 肝臓）
 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 3（麻酔作用）
 特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分 1（肝臓 呼吸器 腎臓 中枢神経系）

環境有害性

水生環境有害性 短期（急性） 区分 3
 水生環境有害性 長期（慢性） 区分 1

（上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。）

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

危険

飲み込んだ場合や吸入した場合は有害
 皮膚刺激
 重篤な眼の損傷
 眠気又はめまいのおそれ
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 発がんのおそれの疑い
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
 肝臓、呼吸器、心血管系、腎臓の障害
 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、呼吸器、腎臓、中枢神経系の障害

東亜ディーケーケー(株)
 SDS 番号: C1445853-M00190-26
 製品名: クロロホルム ACS 1L

注意書き 安全対策	水生生物に有害 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性
	使用前に取扱説明書を入手すること 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 環境への放出を避けること。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。 直ちに医師に連絡すること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。 特別な処置が必要である（詳細は、SDS4 項：応急措置を参照のこと）。 口をすすぐこと。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 漏出物を回収すること。
応急措置	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 施錠して保管すること。
保管	
廃棄	地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た 廃棄物処理業者に委託処理する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質	
化学名又は一般名	クロロホルム
含有量	100.0%
化学式又は構造式	CHCl ₃
官報公示整理番号	
化審法	2-37
安衛法	—
CAS No.	67-66-3

4. 応急措置

吸入した場合	： 空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合は直ちに医師の診断、 手当てを受けること。呼吸が停止した場合、人工呼吸を行い、直ちに 医師の診断、手当てを受けること。飲み込んだり吸入した場合は、口 対口の人工呼吸は行わずに、バグバルブマスク等の適切な医療用具 で人工呼吸を行うこと。呼吸が困難な場合は、訓練を受けた者が酸素 吸入を行うこと。
--------	---

東亜ディーケーケー(株)
 SDS 番号: C1445853-M00190-26
 製品名: クロロホルム ACS 1L

- 皮膚に付着した場合 : 直ちに多量の水と石鹼で 15 分間以上良く洗うこと。刺激や炎症が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちに大量の水で、まぶたの下まで 15 分間以上良く洗うこと。眼を大きく見開いて洗浄すること。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。炎症が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。患部をこすらないこと。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないこと。水で口をすすいだ後、多量の水を飲ませること。意識がない場合は口から何も与えないこと。直ちに医師に連絡すること。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
 医師に対する特別な注意事項 : 涙目、充血を起こすことがある。発赤、灼熱感、せき、喘息、呼吸困難
 症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 周囲の火災状況及び環境に応じて、適切な消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤 : データなし
- 火災時の特有の危険有害性 : データなし
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、自給式呼吸器および防護服を着用する。個人用保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 適切な換気を行うこと。指定された個人用保護具を使用すること。漏出区域から離れた、風上の安全な場所に退避させること。眼、皮膚、衣類との接触を避けること。蒸気やミストを吸入しないこと。
- 環境に対する注意事項 : 安全に対処できるならば漏えいを止めること。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 安全に対処できるならば漏えいを止めること。不活性吸着剤（砂、シリカゲル、酸結合剤、万能結合剤、おが屑など）で吸収すること。工具を用いて漏出物を適切な容器に集めること。
- 二次災害の防止策 : 漏出物と漏出場所は環境規制に従い浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 本製品を使用する際は、一般的な労働安全衛生上の規則に従うこと。眼、皮膚、衣類との接触を避けること。この製品を取り扱う際は、飲食や喫煙をしないこと。汚染された衣類はすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。蒸気やミストは吸入しないこと。換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。本製品を使用する際は、密閉された装置、または適切な排気装置を使用すること。
- 技術的対策 : データなし
- 安全取扱注意事項 : 密閉された装置、または適切な排気装置を使用する。
- 接触回避 : データなし
- 保管 : 容器は密栓し、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。子供の手の届かないところに保管すること。施錠して保管すること。
- 安全な保管条件 : データなし
- 安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度 : OSHA PEL; クロロホルム : (vacated) TWA 2ppm, (vacated) TWA 9.78mg/m³, Ceiling 50ppm, Ceiling 240mg/m³
 ACGIH TLV; クロロホルム : TWA 10ppm
- 設備対策 : 安全シャワー、洗眼設備、換気設備

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号: C1445853-M00190-26

製品名: クロロホルム ACS 1L

保護具

- 呼吸用保護具 : 適切な換気
- 手の保護具 : 保護手袋、不浸透性手袋、耐化学薬品手袋（ニトリルゴム製手袋、ブチルゴム製手袋など）
- 眼、顔面の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡、保護面
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣（長袖）
- 一般的な衛生上の注意事項 : この製品を取り扱う際は、飲食や喫煙をしないこと。作業を中断する場合や使用後は直ちに手をよく洗うこと。適切な保護具を着用すること。眼、皮膚、衣類への接触を避けること。蒸気やミストを吸入しないこと。汚染された衣類や手袋などをすべて脱ぎ、再使用する場合には洗濯をし、内側までよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。装置や作業場、作業服は定期的に清掃すること。
- 環境ばく露対策 : 下水系、地面及びあらゆる水域への流出を防ぐこと。大量に漏出した場合は地方自治体へ通知のこと。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 無色、透明
- 臭い : エーテル臭
- 分子量 : 119.37g/mole
- 融点／凝固点 : -64℃; -83.2℉
- 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : 61℃; 141.8℉
- 可燃性 : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : 該当せず
- 引火点 : データなし
- 自然発火温度 : データなし
- 分解温度 : データなし
- pH : データなし
- 動粘性率 : データなし
- 溶解度 : 水 : 溶解する (8000mg/L, 20℃; 68℉)
エチルアルコール : 溶解する (>1000mg/L, 25℃; 77℉)
ベンゼン : 溶解する (>1000mg/L, 25℃; 77℉)
二硫化炭素 : 溶解する (>1000mg/L, 25℃; 77℉)
四塩化炭素 : 溶解する (>1000mg/L, 25℃; 77℉)
エーテル : 溶解する (>1000mg/L, 25℃; 77℉)
- n-オクタノール／水分配係数 (log 値) : log K_{OW} = 1.97
- 蒸気圧 : 21.2kPa/159.016mmHg (20℃; 68℉)
- 密度及び／又は相対密度 : 1.49 (水=1, 空気=1)
- 相対ガス密度 : 蒸気密度 : 4.36
- 粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 該当せず
- 化学的安定性 : 適切な条件下にて安定である。
- 危険有害反応可能性 : 通常使用下にて特になし。
- 避けるべき条件 : 過度の熱
- 混触危険物質 : 強酸、強塩基、強酸化剤
- 危険有害な分解生成物 : ホスゲン、塩化水素、一酸化炭素

東亜ディーケーケー(株)
 SDS 番号: C1445853-M00190-26
 製品名: クロロホルム ACS 1L

1 1. 有害性情報

急性毒性	
(経口)	: 急性毒性推定値 LD50=440mg/kg
(吸入: 蒸気)	: 急性毒性推定値 LC50=9636ppm
皮膚腐食性/刺激性	: 混合物の皮膚腐食性/刺激性成分濃度により区分2とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 混合物の眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性成分濃度により区分1とした。
呼吸器感作性	: データなし
又は皮膚感作性	
生殖細胞変異原性	: 混合物の生殖細胞変異原性成分濃度により区分2とした。
発がん性	: ACGIH A3(確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明)、IARC グループ2B(作用因子はヒト発がん性の可能性がある)、NTP(合理的にヒト発がん性因子であることが予測される)、OSHA リスト記載あり
生殖毒性	: 混合物の生殖毒性成分濃度により区分2とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 混合物の特定標的臓器毒性(単回ばく露)成分濃度により区分1(腎臓 心血管系 呼吸器 肝臓)区分3(麻酔作用)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 混合物の特定標的臓器毒性(反復ばく露)成分濃度により区分1(肝臓 呼吸器 腎臓 中枢神経系)とした。
誤えん有害性	: データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	: クロロホルム: 藻類 72 時間 EC50=13.3mg/L 魚類 21 日間 NOEC=0.059mg/L
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: 有機炭素/水分配係数 $\log K_{oc}=1.71$
オゾン層への有害性	: データなし

1 3. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
残余廃棄物	: 地方自治体の規制及び環境規制に従って処分する。または都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器・包装	: 容器は再利用しないこと。

1 4. 輸送上の注意

国内規制	
陸上規制情報	: 道路法及び毒物及び劇物取締法に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法に従う。
航空規制情報	: 航空法に従う。
国連番号	: 1888
品名(国連輸送名)	: クロロホルム
国連分類	: クラス 6.1(毒物)
容器等級	: III
緊急時応急措置指針番号	: 151
輸送の特定の安全対策及び条約	: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にする。

東亜ディーケーケー(株)
 SDS 番号: C1445853-M00190-26
 製品名: クロロホルム ACS 1L

国際規制

運輸規制情報

Proper Shipping Name : Chloroform
 Hazard Class : 6.1
 Subsidiary Risk : Not Applicable
 ID Number : UN1888
 Packing Group : III

航空規制情報

Proper Shipping Name : Chloroform
 Hazard Class : 6.1
 Subsidiary Risk : Not Applicable
 ID Number : UN1888
 Packing Group : III

海上規制情報

Proper Shipping Name : Chloroform
 Hazard Class : 6.1
 Subsidiary Risk : Not Applicable
 ID Number : UN1888
 Packing Group : III

その他の情報

本製品はケミカル・キットの一部として出荷されることがある。ケミカル・キットは以下のとおり分類される。国連分類：クラス9（その他の危険物質）、国連番号：3316

15. 適用法令

化学物質管理促進法	:	第1種指定化学物質（法第2条第2項、施行令第1条別表第1） クロロホルム（管理番号：127）
労働安全衛生法	:	名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9） クロロホルム（政令番号：160） 健康障害防止指針公表物質（法第28条第3項・厚労省指針公示）クロロホルム 特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者（法第66条第2項、施行令第22条第1項）クロロホルム 作業環境評価基準（法第65条の2第1項）クロロホルム 特定化学物質第2類物質、特別有機溶剤等（特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2号、第3の2号、第3の3号）クロロホルム 特定化学物質特別管理物質（特定化学物質障害予防規則第38条3）クロロホルム
毒物及び劇物取締法	:	劇物（法第2条別表第2）クロロホルム
化審法	:	優先評価化学物質（法第2条第5項）クロロホルム
水質汚濁防止法	:	指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3）クロロホルム
海洋汚染防止法	:	有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1）クロロホルム
船舶安全法	:	毒物類・毒物（危規則第3条危険物告示別表第1）クロロホルム
航空法	:	毒物類・毒物（施行規則第194条危険物告示別表第1）クロロホルム
消防法	:	貯蔵等の届出を要する物質（法第9条の3・危険物令第1条の10六別表2）クロロホルム【貯蔵取扱量】200kg以上
道路法	:	車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）トリクロロメタン 【積載数量】1000kg

東亜ディーケーケー(株)

SDS 番号:C1445853-M00190-26

製品名:クロロホルム ACS 1L

16. その他の情報

引用文献等

- ① Hach Company SDS No. M00190 (Chloroform)
- ② 化学物質総合検索システム、(独)製品評価技術基盤機構
- ③ ezCRIC 日本ケミカルデータベース(株)
- ④ JIS Z7252-2019 および Z7253-2019

記載内容の取扱い

この安全データシートは各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意してください。

また含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の実用性を対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

その他

GHS分類はJIS Z 7252に基づくものであり、HACH社のGHS分類とは異なる場合があります。取扱いの際は、この安全データシートをご参照ください。